

2023年3月24日

株式会社三菱UFJ銀行

三菱HCキャピタル株式会社で「トランジション・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 当行）は、三菱HCキャピタル株式会社（代表取締役 社長執行役員 柳井 隆博^{やない たかひろ}、以下 三菱HCキャピタル）との間で、三菱HCキャピタルが新たに策定したトランジションローン・フレームワーク（以下 本フレームワーク）に基づき、ローン契約（以下 本契約）を締結いたしました。

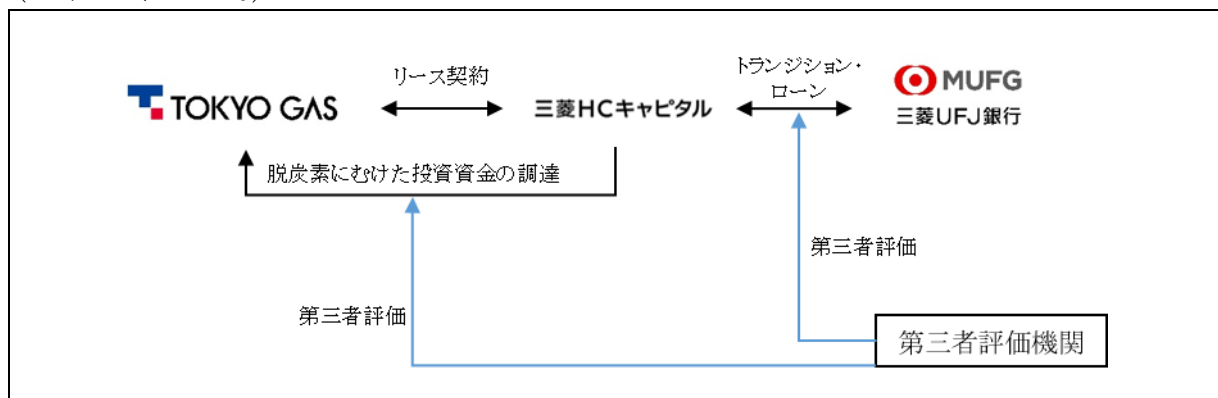
本契約を含む資金調達スキーム（以下 本スキーム）は、「Enabler（イネーブラー：他者のトランジションに資金を供給する金融機関）によるトランジション・ファイナンス調達」として、経済産業省の「令和4年度温暖化対策促進事業費補助金^[1]」（以下 本補助金）に初めて採択されました。

本スキームは、三菱HCキャピタルがトランジション・ローンにて当行から調達した資金を原資に、東京ガス株式会社（取締役 代表執行役社長 内田 高史^{うちだ たかし}、以下 東京ガス）のグループ会社が所有する既存の高効率ガスエンジン発電設備^[2]をリースバック^[3]した上で、東京ガスがリースバックで得た資金を自社グループの国内太陽光発電プロジェクトに充当するものです。リースバックの対象である高効率ガスエンジン発電設備および太陽光発電プロジェクトが、低炭素化および脱炭素化に資するものであることから、本補助金の採択に至りました。

（本ローンの概要）

借入人	三菱HCキャピタル株式会社
契約締結日	2023年3月24日
借入期間	5年間
第三者評価機関	DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行

（スキームについて）



本フレームワークは、温室効果ガスの排出削減に取り組む企業に対して、リースを通じた支援を行い、調達手法の多様化を図ることを目的として、三菱 HC キャピタルがトランジション・ファイナンスへの適格性を評価するプロセスを定めたものです^[4]。国際資本市場協会「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック（2020）」、経済産業省・環境省・金融庁「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針（2021年5月）」、ローン・マーケット・アソシエーション「グリーンローン原則（2021）」及び環境省「グリーンローンガイドライン（2022）」に適合する旨の第三者評価^[5]を、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より取得しております。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのカーボンニュートラルの達成に向けたトランジションの基盤構築・ファイナンス提供をはじめ、ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 令和 4 年度温暖化対策促進事業費補助金については以下をご参照ください。

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/transition_finance.html

[2] 再生可能エネルギーによる発電量が低下するタイミングで稼働する調整電源として活用される高効率ガスエンジン発電設備。機動性が高く、火力平均（火力発電所のCO2排出係数）と比較してCO2排出が少ない。

[3] お客さまが所有物件を一旦リース会社に売却し、直ちにリース会社より賃借する取引。

[4] トランジションローン・フレームワークについては以下をご参照ください。

https://www.mitsubishi-hc-capital.com/pdf/sustainability/sustainable_finance/transition-loan-framework.pdf

[5] DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社の第三者意見書については以下をご参照ください。

https://www.mitsubishi-hc-capital.com/pdf/sustainability/sustainable_finance/transition-loan-framework_spo.pdf

以 上